



ユニチカ株式会社

2026年3月期 第3四半期 決算の概要

2026年2月6日

2026年 3月期 第3四半期 実績

- 》食品包装分野の販売は前年比で微減。電子材料分野の販売は好調に推移。各製品で価格改定を実施し、売上高は956億円（前期比+21億円）となった。
- 》不採算販売の見直し、製品価格改定、経費削減などのコストダウン施策の効果に加え、高収益品の販売が堅調に推移したことより、営業利益は90億円（前期比+47億円）となった。
- 》営業利益が増加したことに加え、円安の進行に伴う外貨建て資産の評価益等の為替差益9億円を計上した結果、経常利益は88億円（前期比+38億円）となった。
- 》事業譲渡等に伴い、当社及び当社グループが保有する固定資産の売却益237億円を特別利益に計上。また、事業構造改善費用124億円を特別損失に計上。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は106億円（前期比+350億円）となった。

2026年 3月期 通期業績予想

- 》通期の業績予想を下記の通り上方修正。

11月公表	売上高: 1,100	営業利益: 75	経常利益: 60	当期純利益: 未定
今回修正	売上高: 1,100	営業利益: 95	経常利益: 90	当期純利益: 200（億円）
- 》事業撤退が概ね完了し、現時点で合理的な算定が可能となったことから、親会社株主に帰属する当期純利益を200億円と算定。
 営業利益、経常利益についても、第3四半期までの実績と市況を考慮し上方修正。

- 1 2026年3月期 第3四半期決算概要**
- 2 各事業セグメントの状況**
- 3 2026年3月期 通期業績予想**

売上高

956億円 (前年同四半期 935億円 / 前年同四半期比 +21億円)

食品包装分野は食品需要の落ち込みや海外品流入の影響等を受け販売量は微減。一方で電子材料分野を中心に販売量は増加。各製品の価格改定の効果により、前年同四半期比2.2%の増収。

営業利益

90億円 (前年同四半期 43億円 / 前年同四半期比 +47億円)

食品包装分野や電子材料分野を中心に高収益品の販売が堅調に推移。不採算販売の見直し、製品価格改定、コストダウン施策の効果により、前年同四半期比110.3%の増益。

経常利益

88億円 (前年同四半期 50億円 / 前年同四半期比 +38億円)

営業利益の増加、円安による外貨建資産評価益等の為替差益9億円の計上により、前年同四半期比75.8%の増益。前期末の為替レート：1ドル＝150円に対し、12月末：1ドル＝157円

親会社株主に 帰属する 四半期純利益

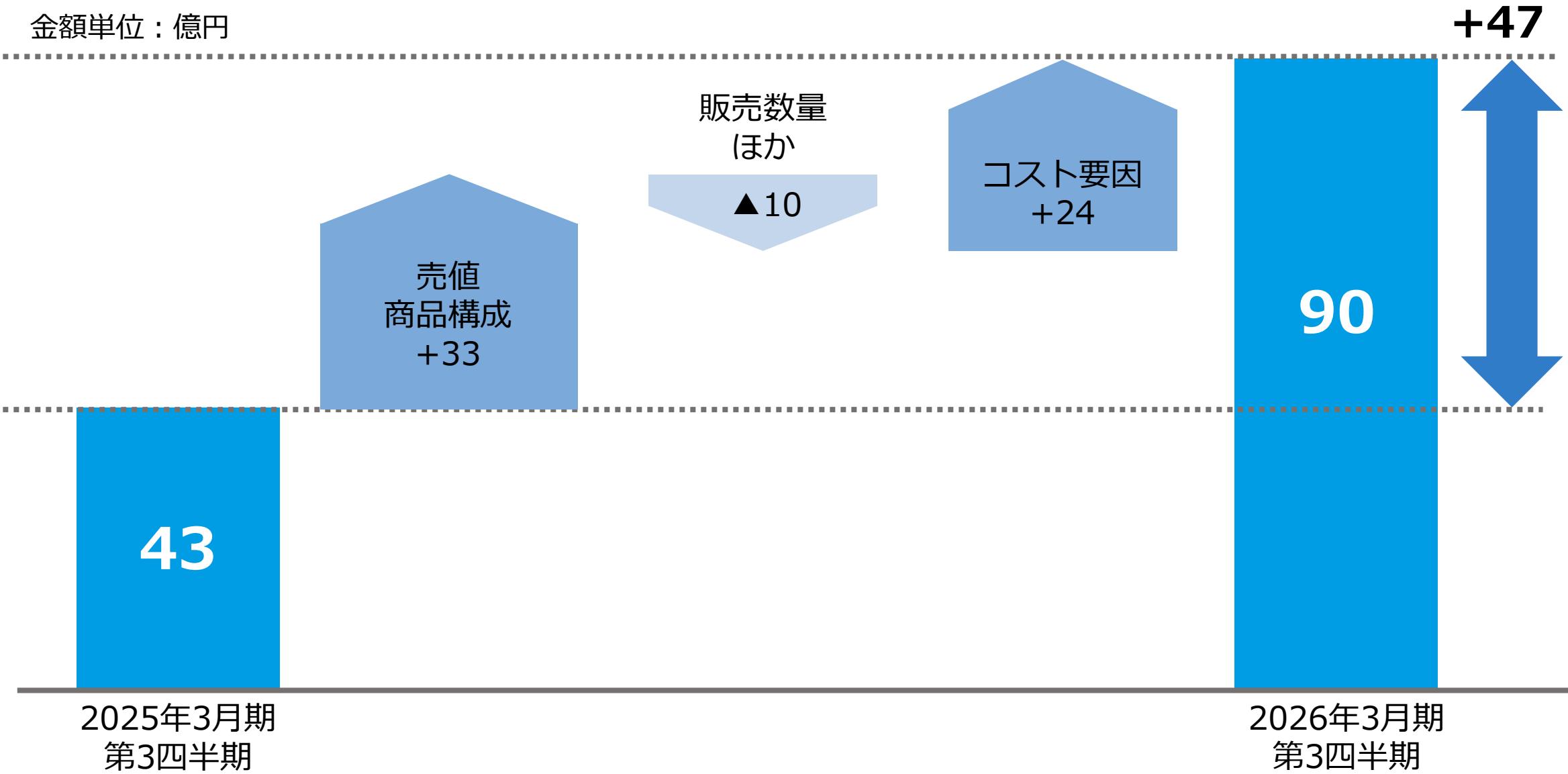
106億円 (前年同四半期 ▲244億円 / 前年同四半期比 +350億円)

当社及び当社グループが保有する固定資産の売却益237億円を特別利益に計上。事業構造改善費用124億円を特別損失に計上。

連結合計 (単位：億円)	2024年3月期 第3四半期実績	2025年3月期 第3四半期実績	2026年3月期 第3四半期実績	前々年同四半期比	前年同四半期比
売上高	865	935	956	+91	+21
売上総利益	134	192	236	+102	+44
営業利益	▲26	43	90	+116	+47
営業利益率	(▲3.0%)	(4.6%)	(9.4%)	—	+4.9%
経常利益	▲21	50	88	+109	+38
特別利益	0	2	248	+248	+247
特別損失	5	325	128	+123	▲197
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲29	▲244	106	+135	+350
減価償却費*	41	35	22	▲19	▲13
設備投資*	47	23	20	▲27	▲4

* 減価償却費、設備投資額は無形固定資産分を含まない

金額単位：億円



セグメント別 (金額単位：億円)	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同四半期比増減	
			金額	率
売上高	935	956	+21	+2.2%
高分子事業	422	425	+3	+0.7%
機能資材事業	276	291	+16	+5.8%
繊維事業	237	239	+2	+0.8%
その他	0	1	+0	+47.7%
営業利益	43	90	+47	+110.3%
高分子事業	45	75	+30	+67.0%
機能資材事業	4	14	+10	+251.7%
繊維事業	▲6	1	+6	-
その他	▲1	▲0	+0	-

金額単位：億円		2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	増減
売上高		422	425	+3
	フィルム	260	242	▲18
	樹脂	103	108	+5
	他	58	75	+16
営業利益		45	75	+30

フィルム事業

包装用フィルムは、国内では食料品等の価格上昇、海外安価品の流入等の影響を受け販売は微減。海外においては不採算銘柄の撤退により販売量は減少したが、販売戦略の転換とコスト削減により収益は改善。工業用フィルムは、電子材料関連の販売は堅調に推移。

樹脂事業

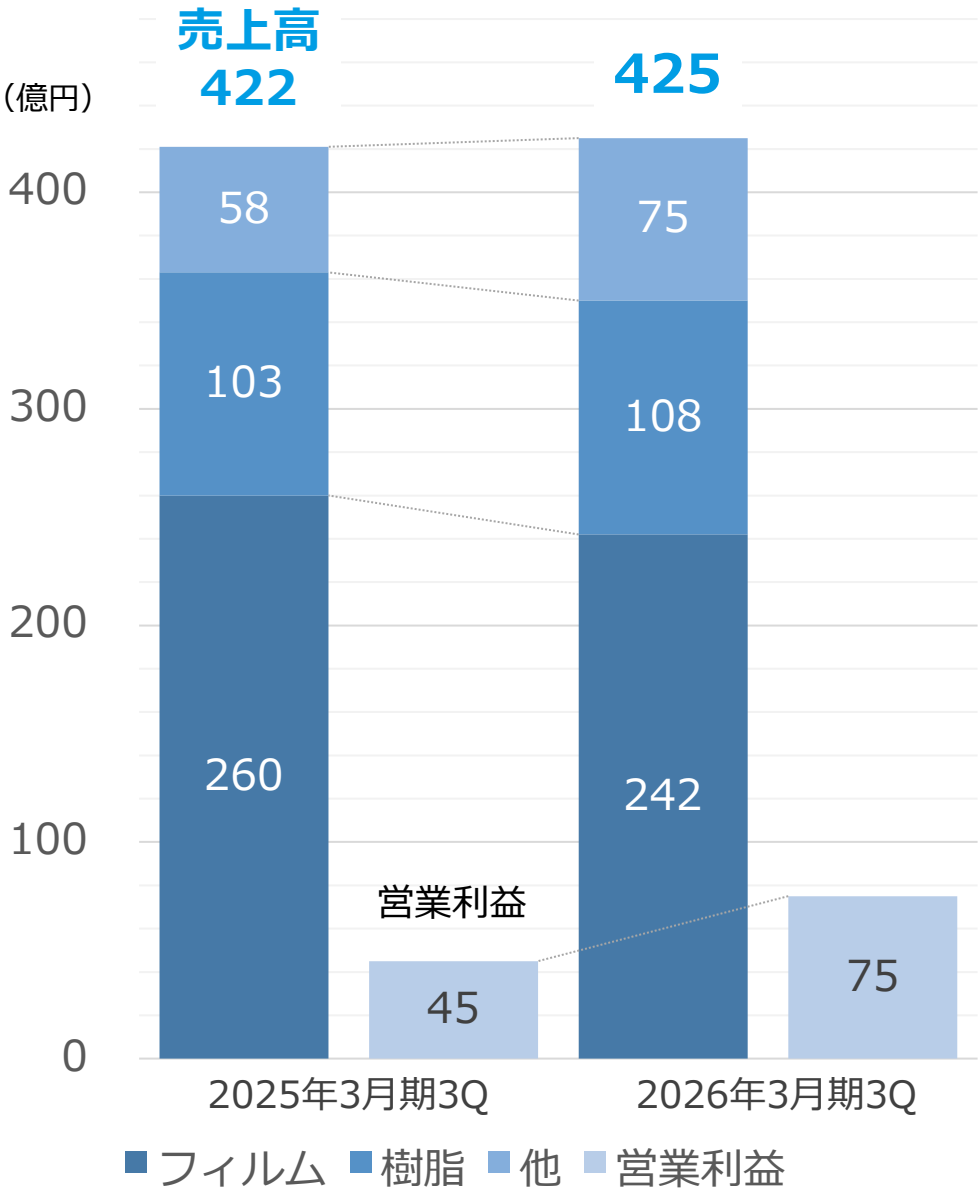
エンプラでは自動車向けがやや低調だったが、機能樹脂と共に電気電子部品用途の販売が好調に推移。製品の価格改定効果により増収。

他事業

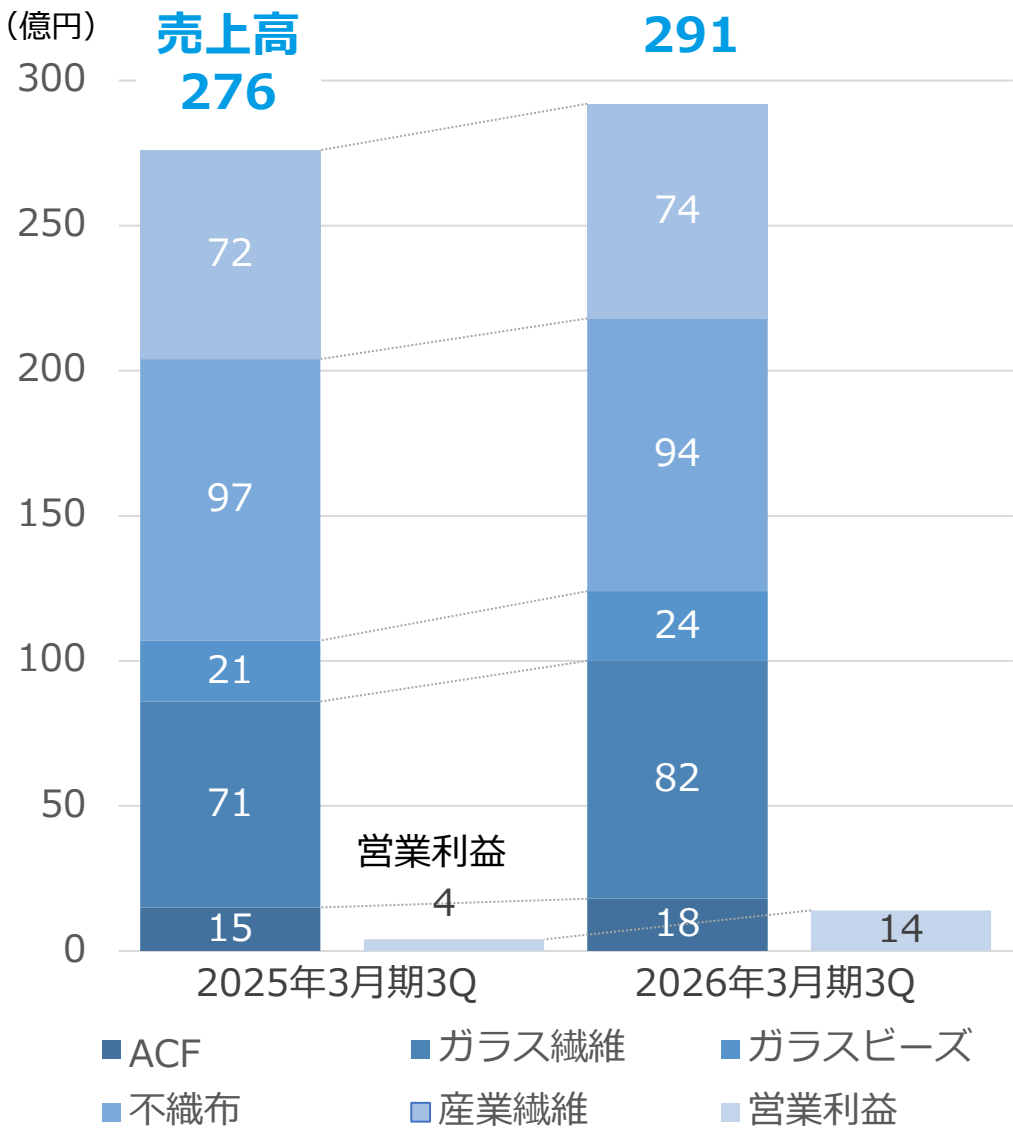
U上海の販売が好調。特にハイバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」の販売が伸長。

セグメント営業利益

高収益品の販売が伸長したことに加え、販売戦略の転換、不採算販売の見直し、継続して注力している価格改定やコストダウン効果により増益。



金額単位：億円		2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	増減
売上高		276	291	+16
	活性炭繊維 (ACF)	15	18	+3
	ガラス繊維	71	82	+11
	ガラスビーズ	21	24	+3
	不織布	97	94	▲4
	産業繊維	72	74	+2
営業利益		4	14	+10



活性炭繊維（ACF）事業

空気浄化用途のVOC除去シートの海外向け販売市場が回復基調にあり、主力である浄水用途の販売も好調に推移。

ガラス繊維事業

産業資材分野は、建築資材用途のテント・シート類を中心に堅調に推移。電子材料分野は、半導体需要の拡大を背景に、ハイエンド携帯端末向けモバイルメモリ用途の超極薄低熱膨張ガラスクロスおよび超極薄Eガラスクロスの販売が伸長。

ガラスビーズ事業

道路用途は工事件数減少の影響と海外安価品との価格競争により販売量は減少。一方、工業用途および反射材用途の販売は堅調。

不織布事業

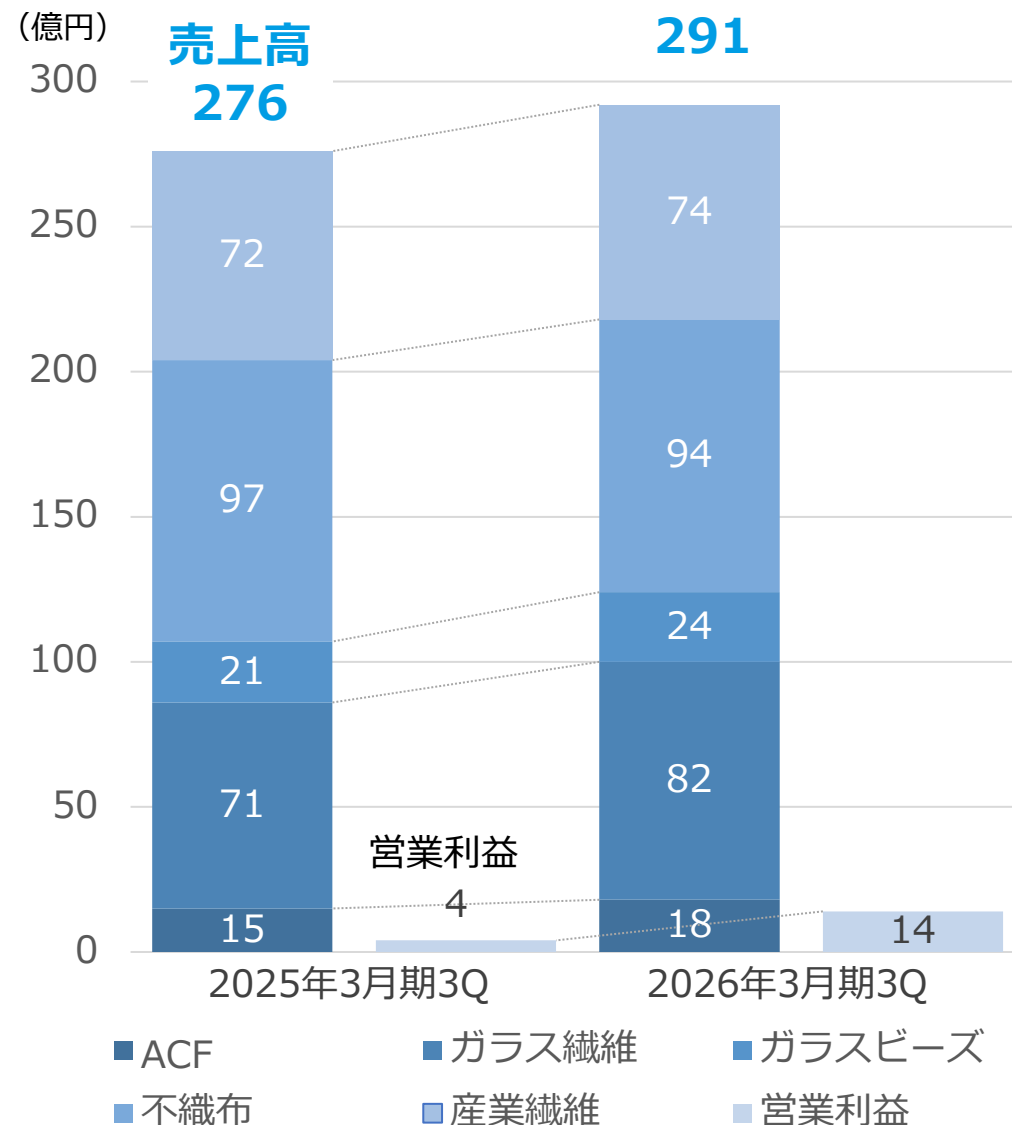
スパンボンド不織布は農業資材用途や自動車用途を中心に堅調に推移。コットンスパンレース不織布は、生活資材用途で販売が減少したものの、産業資材用途での販売が好調を維持。収益は改善し営業赤字は縮小。

産業繊維事業

ポリエステル短繊維の販売は減少。一方でポリエステル高強力糸の販売が増加。モノフィラメントの販売も堅調に推移。収益は改善し営業赤字は縮小。

セグメント営業利益

電子材料分野での高収益品の販売が伸長。また、価格改定、不採算販売の見直し、コストダウン施策の効果により増益。



金額単位：億円		2025年 3月期3Q	2026年 3月期3Q	増減
売上高		237	239	+2
	衣料繊維・他	237	239	+2
営業利益		▲6	+1	+6

衣料繊維事業

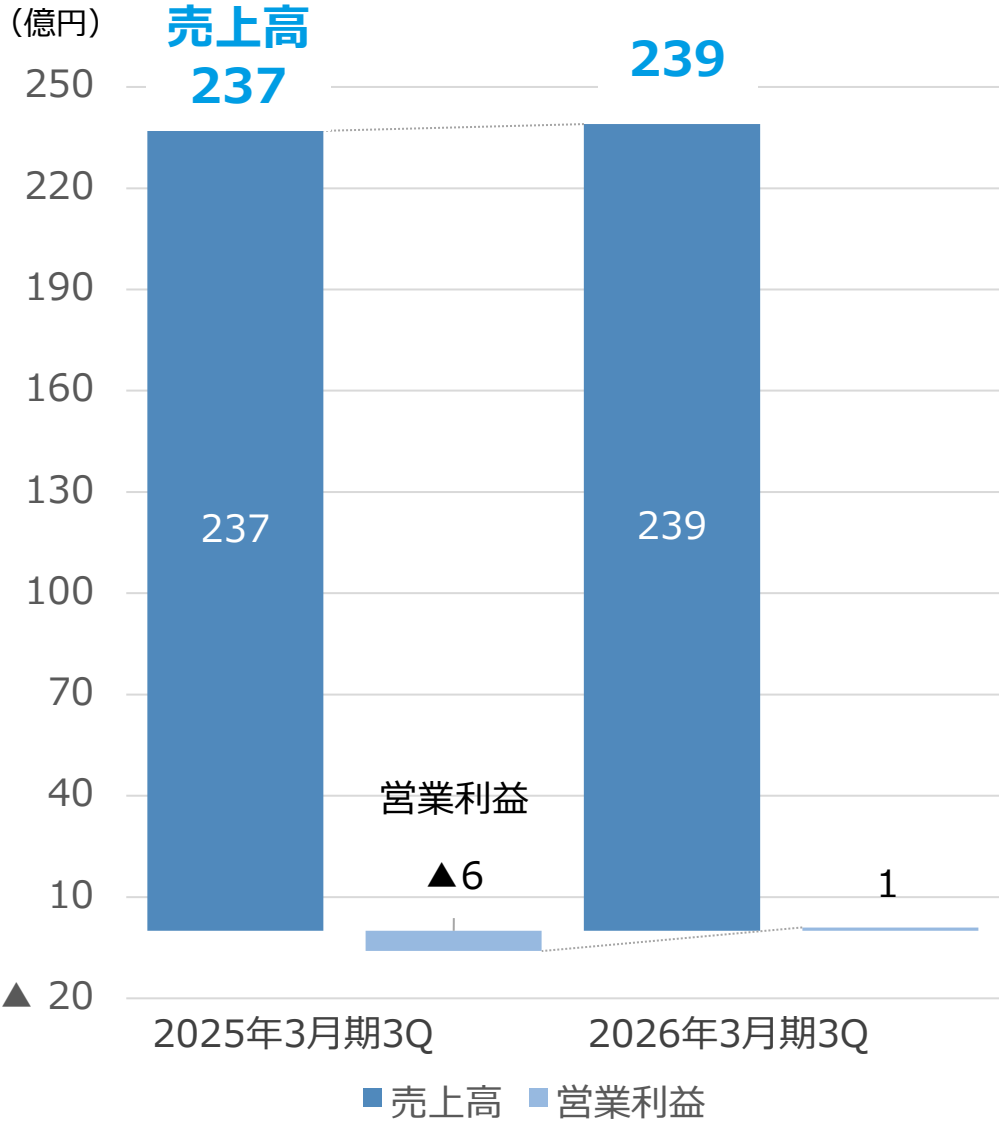
ユニフォームの販売は官需を中心に堅調。一方で一般衣料、寝装、スポーツ衣料分野は需要が振るわず販売量は減少。

産業資材事業・グローバル事業

産業資材事業は、建築土木関連の販売は好調。グローバル事業はデニム生地
の輸出販売が堅調に推移。

セグメント営業利益

不採算販売の見直しをはじめ、販売価格の適正化とコストダウン施策により
営業赤字から黒字に転換。



(金額単位：億円)	2025年 3月期実績	2026年 3月期予想 (11月公表値)	2026年 3月期予想 (今回修正)	前期比 増減	2026年 3月期 3Q実績	対予想 進捗率
売上高	1,264	1,100	1,100	▲164	956	86.9%
営業利益	59	75	95	+36	90	94.7%
経常利益	47	60	90	+43	88	97.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲243	未定	200	+443	106	53.0%

※現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、親会社株主に帰属する当期純利益を200億円と算定。
・ 営業利益・経常利益についても、3Qまでの状況と直近の市況を考慮して上方修正。

※業績予想の前提

為替レート (円/米ドル)	原油価格 (ドル/バレル)
157	61

(金額単位：億円)		2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q	2024年 4Q	2025年 1Q	2025年 2Q	2025年 3Q
売上高		279	301	285	318	307	309	320	329	309	312	335
	高分子	127	133	125	126	141	140	141	132	139	144	141
	機能資材	79	86	85	92	93	91	92	95	96	95	101
	繊維	73	82	75	101	72	78	87	102	73	73	93
	その他、連結調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業利益		▲7	▲11	▲8	1	12	11	21	16	28	28	34
	高分子	2	▲1	1	4	15	13	18	15	23	27	26
	機能資材	▲7	▲8	▲6	▲4	▲0	2	3	▲1	5	4	6
	繊維	▲2	▲3	▲3	2	▲2	▲3	0	2	1	▲2	2
	その他、連結調整	0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0	▲0

(金額単位：億円)		2023年 1Q	2023年 2Q	2023年 3Q	2023年 4Q	2024年 1Q	2024年 2Q	2024年 3Q	2024年 4Q	2025年 1Q	2025年 2Q	2025年 3Q
高分子		127	133	125	125	141	140	141	132	139	144	141
	フィルム	85	84	82	85	90	88	82	84	84	80	78
	樹脂	32	32	35	35	34	34	35	35	36	35	37
	その他	11	17	8	5	17	18	24	13	20	29	26
機能資材		79	86	85	92	93	91	92	95	96	95	101
	ACF	5	5	5	5	5	5	5	6	5	6	7
	ガラス繊維	20	23	23	24	24	24	23	22	23	27	31
	ガラスビーズ	6	6	7	8	8	6	7	7	8	9	7
	不織布	26	28	28	31	30	32	35	34	33	32	29
	産業繊維	23	23	22	24	26	23	23	25	27	21	26
繊維		73	82	75	101	72	78	87	102	73	73	93

ご注意

**本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、
本資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて作成したものであり、
実際の業績等は、今後の種々の要因によって、
本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。**